

ボランティア関係機関職員養成講座【第1回】

令和4年6月30日(木)13:00～15:30 県総合社会教育センター大研修室 受講者数129名

1 趣旨

ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型のディスカッションを開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す。

2 内容

【講義】「地域に求められるこれからのボランティア～参加が生む無限大の創造力～」

認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

副代表理事 青山 織衣 氏

【パネルディスカッション】「コロナ禍でも、楽しく生き生きと！～活動のヒント～」

〈コーディネーター〉

講師 青山 織衣 氏

〈パネリスト〉

ボランティアむつの会

会長 渡部 てつ 氏

事務局長 菊池 さとよし 氏

浅虫町会

理事 鳴海 弘志 氏



3 講義要旨

- ボランティアは安価な労働力ではなく、無限の創造力です。地域は人材の宝庫ですから、いろいろな人たちがアイデアを出し合って、新しいものが生まれていることをもう一度確認しましょう。
- ボランティアの原動力として、「正しい、こうあるべき」ではなく、自分の「好き」や「楽しい」を大切に、「気になる、おもしろそう、これならやれそう」から始めてみましょう。
- コロナ禍でのボランティア活動は知恵比べです。本当の価値に出会うチャンスと考え、「あり方」を大事にしながら「やり方」を変え、試行錯誤しながらチャレンジしてみましょう。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	70%	どちらかと言えば満足	30%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- ボランティアの考え方が変わった時間でした。ボランティアを「誰かのために」というキーワードで考えていた自分にとって、今回の「自分が楽しむこと」「自分の特徴・強みを生かす」と聞き、「誰かのために」も重要ですが、ボランティアを楽しむことができれば、ボランティアのハードルも下げることができるのではないかと思います。
- コロナ禍で活動を休止し、再開するにもリスクを重視して踏み切れない方やモチベーションの低下が心配される中、コロナ禍でいかに活動を進めていくか、進められるようサポートできるかが、ボランティアセンターとしての課題であったので、大変参考になりました。
- 青山先生のお話は分かりやすく参考となりました。パネルディスカッションでのボランティアむつの会、浅虫町会のお話も楽しく聞くことができました。いろいろな人が関わる仕組みや交流の仕方など「つながり」を大切にして、活動に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

第1回の講座では、ボランティアの捉え方について再確認し、ボランティアの原動力が何かやコロナ禍での活動継続のヒントを学ぶことができました。また、パネルディスカッションでの実際のボランティア活動の取り組み紹介は、今後のボランティア活動について受講者がヒントを得ることができた内容でした。